

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 29 年度相模原市地域保健医療審議会 保健医療計画推進部会		
事務局 (担当課)		健康福祉局保健所地域保健課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 4 1 (直通)		
開催日時		平成 29 年 6 月 1 6 日 (金) 午後 7 時 0 0 分から午後 8 時 4 5 分まで		
開催場所		総合保健医療センター A 館 7 階 視聴覚室		
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 8 人 (保健所長 他 1 7 人)		
公開の可否		可 不可 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 委員紹介 3 議題等 ( 1 ) 次期「相模原市保健医療計画」の策定について ( 2 ) 市民生活習慣実態調査結果の報告及び成果指標について ( 3 ) 計画に係る主な事業の進捗状況について ( 4 ) 計画の概要及び基本指針の各区分における目標等について 4 その他		

## 審 議 経 過

大山会長の議事進行により、冒頭に出席委員の人数が定足数に達していることを確認し、その後、議題について審議した。

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 3 議題

#### (1) 次期「相模原市保健医療計画」の策定について

資料1により、計画策定の背景、経緯、基本的な考え方、位置付け、次期計画の検討体制及びスケジュールについて説明。

・特に、質疑なし。

#### (2) 市民生活習慣実態調査結果の報告及び成果指標について

別冊の「相模原市市民生活習慣実態調査報告書」及び資料2により、調査結果の報告と現計画に記載の成果指標について説明。

一般市民を対象に調査をしているが、今後の高齢化に伴い、人口動態も変わってくると思われる。このことから、10年前と単純に比較できず、回答に偏りが出てくることから、設問内容等について、今までと違った視点で考えていくことなども必要になってくるのではないかと。

現在、多くの設問については、年代ごとに集計結果を出している。委員のご意見のとおり、次回の調査では人口動態の動きなども勘案しながら、検討していきたい。

例えば、「家族や友人等と一緒に食べる習慣」の設問についてであるが、現在、高齢者の単身世帯も増えているほか、共働き家庭も多いことから、孤食が増えている可能性もあると思われる。

今回の資料では、指標の経年変化が示されている点は良かった。前回と今回の比較からも分析をしてみてもどうか。

成果指標について、目標値を下回っている項目の考察をしていくのか。

今後、作業部会において原因分析を行い、次期計画期間の5年間の取り組みを検討していく。

食育の関係であるが、孤食は年齢的な特徴も見られる。児童生徒の肥満は改善してきているが、中年女性の肥満は減少していないことから、積極的なアプローチが必要である。

孤食予防について考えていかなければと感じている。

他都市などとの比較は行う予定か。

出来る範囲であるが、作業部会などで調査をしていきたい。

かかりつけ歯科医が増加しているのは、集団健診の影響と考えられる一方、幼児については、かかりつけ医やかかりつけ薬局と比較すると少ないのはなぜか。

どこまで影響しているかは不明であるが、幼児調査では集団健診の際に、保護者から回答をいただいている。また、幼児については、フッ素予防などはあるものの、まだ健康な歯であることが考察される。

集団健診時における普及啓発を検討していただきたい。

かかりつけ歯科医については、3歳6か月健診において案内をしている。また、保護者は低年齢からの予防について感心があるようであった。虫歯予防では、歯の磨き方の指導をしており予防は重要である。

健康寿命は毎年算出されているのか。

毎年算出はしていない。

### (3) 計画に係る主な事業の進捗状況について

資料3により、主な事業の進捗状況について説明。

産科医療機関での歯科健康教室の試行実施とあるが、現時点で進んでいるのか。

現在、市内二つの病院で実施を予定している。また、実施の時期や時間配分は、病院の意向を聞いて調整している。

健康危機管理事業の今後の取組区分において、拡充・充実となっていることは良いことである。

拡充・充実となっている事業は新たな予算が付くということか。

回数や取組内容なども含めて拡充・充実としているので、新たな予算が付くということではない。

思春期の女性の栄養、ダイエット問題についてお聞きしたい。

市内の学校に出向き、生徒に対して食の問題や子宮頸がん予防と一緒に、ダイエットについて話をしている。今後、普及啓発を充実させていきたいと思っている。

学校調査では思春期のやせが多いようである。何か対策を講じる必要があると感じている。

市の避難所と救護所についてであるが、救護所のある学校等では、避難所と合同で会議をするのが良いのではないかと考えている。

関係する所属が構成員となっている作業部会にご意見として伝える。

小児慢性特定疾病医療費助成制度が取組事業に掲載されていないが。

小児慢性特定疾病医療費助成制度については、市の母子保健計画の中で検討したいと考えている。今後の資料では、小児慢性疾病医療費助成事業についても掲載していきたい。

#### (4) 計画の概要及び基本方針の各区分における目標等について

資料4により、計画の基本理念、基本方針、区分の概念図の説明及び次期計画における目標等の考え方について説明。

高齢者への支援対策として、ますます在宅医療が検討されていくと思っている。また、地域医療構想が進む中で、病床数について盛り込む予定はないのか。

本計画は健康増進計画が主軸の計画であり、医療の主軸は県が策定する医療計画である。市として取り組む分野を入れながら、他の計画とも整合を図るよう策定していく。また、整合性の図り方については、今後検討していきたいと考えている。

県の保健医療計画と整合を取らなければならないのか。また、県の計画のスケジュールは。

県の計画も市と同じようなスケジュールであるが、極力情報を収集し、整合を目指していく。

在宅医療体制の文言をもっと目標に追加した方が良い。

在宅訪問診療は医師だけでは無いため、歯科医師も入っているような文言にできないか。

検討する。

#### 4 その他

部会長から、計画策定後の伝達方法について、高齢者の方は紙媒体で閲覧することが多く、また、若者はインターネットやスマートフォンなどに移行

している状態であることから、市のホームページのトピックス欄を使用するなど、市全体として検討するよう要望があった。

最後に、部会長から事務局に対し、本日の部会での各委員からの意見や要望を十分に踏まえ、今後の計画策定を進めるよう要望され、閉会。

以 上

平成 29 年度 相模原市地域保健医療審議会保健医療計画推進部会

出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠
1	大山 宜秀	一般社団法人相模原市医師会	部会長	出席
2	土屋 敦	公益社団法人相模原市病院協会		出席
3	井上 俊彦	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
4	大岡 元	公益社団法人相模原市薬剤師会		欠席
5	佐藤 美樹	公益社団法人 神奈川県看護協会相模原支部		欠席
6	森川 哲郎	相模原市自治会連合会		出席
7	高部 博	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会		出席
8	松田 正則	相模原市健康づくり普及員連絡会		出席
9	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体 わかな会		出席
10	飯田 由美子	特定非営利活動法人 神奈川県歯科衛生士会相模原支部		出席